

花鳥風月・俳句

冬うらら今宵の酒に足取られ

大根や透き通るほど白くなり

小野 弘幸

袖撫でる道端狭しススキかな

高橋 学

晩秋を掃き集めたる小庭かな

在りし日の母思ひ出す味噌作り

壁飾る孫の写真や文化の日

小田 和子

露天湯の鼻歌
楽し今朝の冬

犬どこで片足
上げる冬田道

ぱちぱちの音
の手招き落葉焚

小田慶喜

秋晴や全部吐
き出せ腹の虫

越智和人

穂芒の招くが
如く揺れてをり

コスモスに吹
く風やさし遍路
みち

鈴木伊都美

笑顔なき令和
の写真台風忌

曾我部福石

初霜に艶つや甘みほうれん草

田中 良子

煙火鳴り祭の開始呼びかける

CMの幕間に満月覗き見る

小林 泰子

山中に山中ほどに紅葉冷

落合 敦

燃え咲きてカンナ真つ赤に心打つ

一斉に咲くも儂なき露の花

塗 堀 良子

旬の味太鼓祭りとお新米と

温暖化ヒトスジシマカ秋に刺す

徳永 誠一

栗飯や中秋の明月よ

買いめぐり水都市にていちぢくを

石井

トシ子